

# 前立腺がんの初期治療および治療経過に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2016年 6月 27日 ~ 2029年 3月 31日

## 〔研究課題〕

前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究

## 〔研究目的〕

前立腺がんと診断された患者さんの年齢や診断された時点での状態を調査し、どのような病気の状態の時に最初に 行われる治療が何か、研究期間中の患者さんの状態がどうだったかをまとめることを目的にしています。この研究は、東京大学教授 久米春喜先生が理事長 をされている特定非営利活動法人(NPO 法人) J-CaP 研究会 (日本における前立腺がんの医師主導臨床研究組織)に参加している医療機関から患者さんの情報を収集し、札幌医科大学で解析を行います。

## 〔研究意義〕

前立腺がんは欧米に比べて日本では患者数が少ない疾患でしたが近年増加しています。新しい薬剤や、ロボット支援手術など様々な治療方法が日本でも行う事ができるようになってきました。以前より患者さんの診断時の年齢や診断後の治療方法が欧米と日本では違うことが知られています。そこで、様々な治療法が選択できるようになった近年の日本の患者さんが、どのような治療を受けておられるのか、その結果どのような治療効果を認めているかなどの実態を把握することは大変重要な事です。

## 〔対象・研究方法〕

2016年1月1日~2018年12月31日の間に当院において前立腺がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに診断された時の状態や前立腺がんそのものの性質を示す検査結果および治療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行い、治療をどう選択されるか、治療によって患者さんの状態がどう変化したかについて調べます。

## 〔研究機関名〕

東京大学をはじめとする全国の100以上の施設が共同で行う研究です。

本学では医学部泌尿器科学講座が研究に参加します。

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究に使用した情報は、研究終了後10年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、J-CaP研究会のホームページに研究内容を掲示します。患者さんの情報は、J-CaP研究会が管理するサーバー上に症例登録サイトを準備し、ID・パスワードを用いて厳重に管理します。

## 〔その他〕

なお、この研究の実施にあたり、アステラス製薬及び武田 薬品工業から研究助成のための資金提供が行われますが、本研究には資金提供のみ行い、データの収集や解析には関与しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 中川徹 職名 主任教授  
所属: 帝京大学医学部泌尿器科学講座  
住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 33709 〕